

AXIS Secure Entry for XProtect

XProtectユーザー向けにアクセスコントロールと映像監視を統合

スタート >

AXIS Secure Entry for XProtect

このオールインワンソリューションは、アクセスコントロールと映像監視を統合し、XProtectユーザーの円滑な運用を支援します。

XProtect内のすべてのドアの入室、監視、対応、調査イベントを効率的に管理できます。アクセスコントロールと映像監視のソフトウェアを何度も切り替える必要はもうありません。

- XProtectでアクセスコントロールと映像監視を統合
- XProtectで、1つのビューと1つの操作方法
- 容易なインストール、導入、使用、更新
- 高度なアクセスコントロール機能
- 容易な拡張と統合

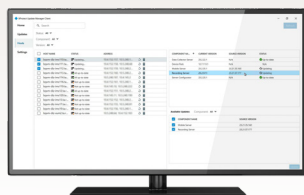


システムコンポーネント

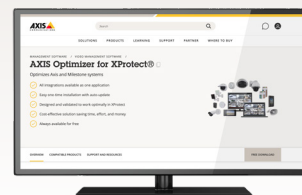
AXIS Secure Entry for XProtectはAXIS Optimizerに含まれており、またXProtect Update Managerにも組み込まれています。

- **XProtect Update Manager:** 分散システム全体にわたって、XProtectとAXIS Optimizerをリモートでインストールおよび更新します。
- **AXIS Optimizer:** XProtect ManagementおよびXProtect Smart Clientにインストールされ、多数のAxisプラグインと統合機能を1つのアプリケーションに集約することで、システムパフォーマンスを最適化・統合します。
- **AXIS Secure Entry for XProtect:** AXIS Optimizerの物理アクセスコントロールモジュール。
- Axisの物理アクセスコントロールソリューションおよびドア入室ソリューションの全ラインナップ。

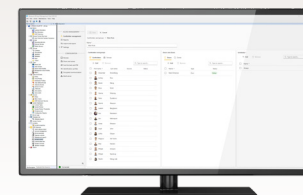
アプリケーション



XProtect Update Manager



AXIS Optimizer



AXIS Secure Entry for XProtect

認証/承認



Axisドアコントローラー

ドア入室ソリューション



OSDPリーダー



QRコード*



ナンバープレート認識 (LPR)
リーダー



ワイヤレスロック*



モバイルアクセス*



Axis分析機能



I/Oモジュール



スピーカーまたは
音声/映像デバイス

XProtectに 完全に統合

AXIS Secure Entry for XProtectは、XProtectビデオ管理ソフトウェアとシームレスに統合されています。

XProtectは、優れた相互運用性、拡張性、柔軟性を備えた、セキュリティ業界をリードするオープンテクノロジーのビデオ管理ソフトウェアとして、長年にわたり高く評価されています。組織の規模を問わず、将来を見据えたセキュリティシステムを構築し、カスタマイズすることができます。XProtectを使用すると、次のような利点が得られます。

- **ソリューションのカスタマイズ:** 統合の問題やハードウェアの制約がありません。市場で最も多彩なデバイスや分析アプリケーションから選択できます。
- **運用の一元化:** 単一のインターフェースで、すべてのデバイス、分析機能、サイトを接続し、セキュリティ運用を簡素化します。
- **ビジネスのセキュリティ確保:** 継続的な更新、強固なサイバーセキュリティ、コンプライアンスにより、ビジネスの安全性とレジリエンスを維持します。

AXIS Secure Entry for XProtectは、Axis-Milestoneシステムを最適化・統合するプラグインと統合機能を集約したスイート、AXIS Optimizerの物理アクセスコントロールモジュールです。

どちらのソフトウェアソリューションも、分散されたXProtectシステムおよびAXIS Optimizerをリモートでインストール・更新できる集中管理ツール、XProtect Update Managerに含まれています。

ドア周辺の状況を把握

モニタリング



アクセスコントロールイベントは、ビデオイベントに統合されています。これにより、イベント、ドア、カード所有者を関連付けたり、ライブカメラ映像を確認したりできます。

カメラとドアを連動させておくことで、オペレーターは人物を特定し、本人確認を行ったうえでリモートからドアを手動で解錠できます。また、操作記録も残すことができます。ドアで識別された人物の画像を含むカード所有者のリアルタイム情報が、カメラ映像と併せて表示されます。オペレーターは、映像監視のアラームと同じユーザーインターフェースを使用して、異常イベントを監視し、物理セキュリティアラームに対応できます。さらに、特定のドアを特定の固定カメラに関連付けることができるため、映像を確認してドアで発生した事象を容易に特定できます。

アシスト

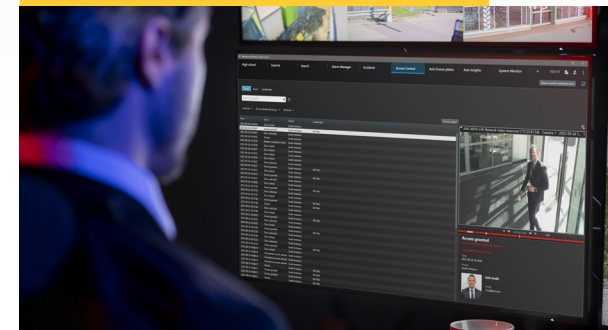


オペレーターは、Smart Clientのインターコムから起動されるポップアップウィンドウを使用して、ドアへのアクセスを要求する承認済みのカード所有者や訪問者に簡単に対応できます。オペレーターは、ドア入室要求や手動アクセス許可の呼び出しを管理できます。

AXIS Optimizerは、XProtectオペレーターがAxisネットワークインターコムを活用してリアルタイムイベントに対応できるよう、数多くの効率的な手段を提供します。例えば、以下のようなことが可能です。

- 着信およびドア入室要求を確認して対応する
- ダイナミックコールルーティングを使用して、着信を優先度に応じてルーティングする
- 呼び出しウィンドウのプリセットボタンを押して、複数のドアの解錠、照明の点灯、録音済みメッセージの再生などの自動アクションを実行する
- シーンの複数のカメラビューにアクセスする

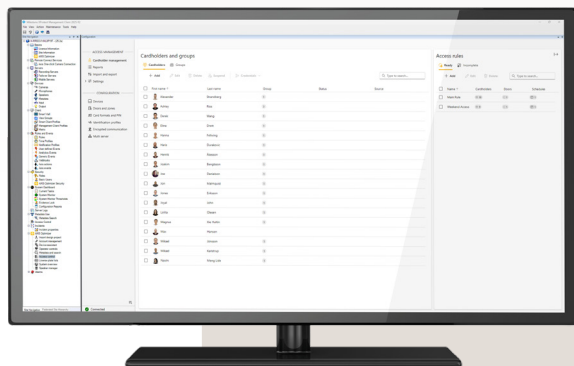
調査



ドアを1台以上のカメラと連動させておくことで、ドア周辺で発生した出来事を映像で確認でき、インシデント発生後の調査が容易になります。

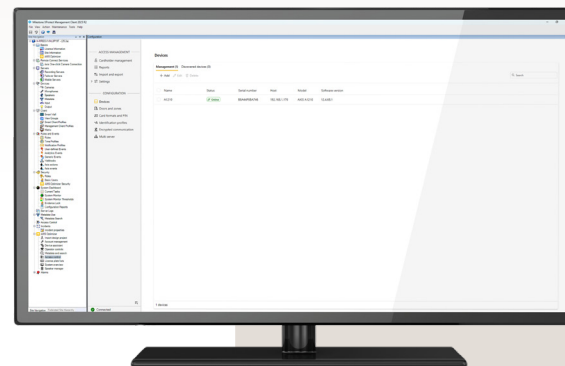
ドア入退室イベントの詳細を確認する必要がある場合、アクセスコントロールイベントはドア履歴イベントログに組み込まれ、当該イベントに関連する録画済みビデオストリームと紐付けられます。これにより、イベントの映像を容易に確認し、発生した事象を調査できます。

アクセスコントロール基本機能



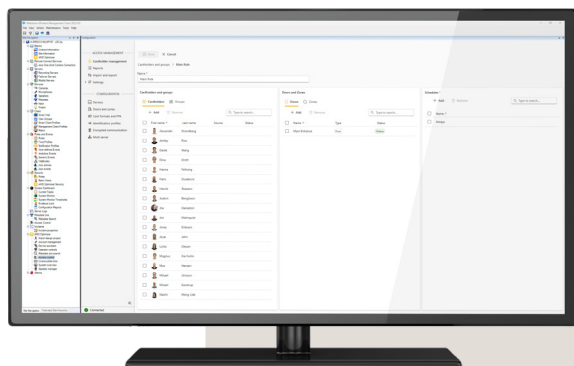
カード所持者とグルーピングの管理

入退管理に使用する情報(カード所持者の属性、顔写真、認証情報、およびカードの所属グループ)の管理。



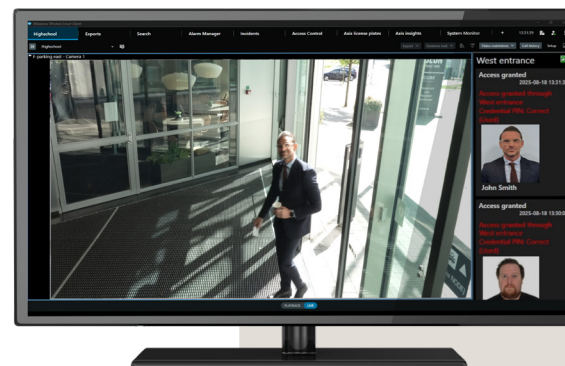
ドアとゾーンの管理

ドアに加えてドアに接続されるすべての周辺機器(ドア物理ポジションセンサー、リーダー、退出要求(REX)、緊急入力など)を連動できます。また、ドアをグループ化してゾーンを作成し、実行アクションと紐づければ、アクセス管理が容易になります。



アクセスルール管理

ドアの開閉を制御するために必要な、誰が、どのように、いつ、どこにアクセスできるかというアクセス権の管理。



カード所持者の映像による確認

カード所持者を映像で確認することで相互検証を行います。カード所持者の写真と入場ポイントで撮影した映像(ライブ映像、または録画映像)を比較します。

今もこれからも、高い安全性と信頼性を提供

柔軟かつ容易な統合



拡張性と将来性に優れたこのソリューションは、Axisネットワークドアコントローラーの全ラインナップに対応します。

これにより、コントローラーをドア付近または中央管理室に設置するなど、柔軟な設置オプションが利用できます。オープンスタンダードに基づいて構築されているため、優れた相互運用性を実現します。勤怠システムなどのサードパーティ製セキュリティソリューションと統合することで、さらに多くの機能を追加できます。

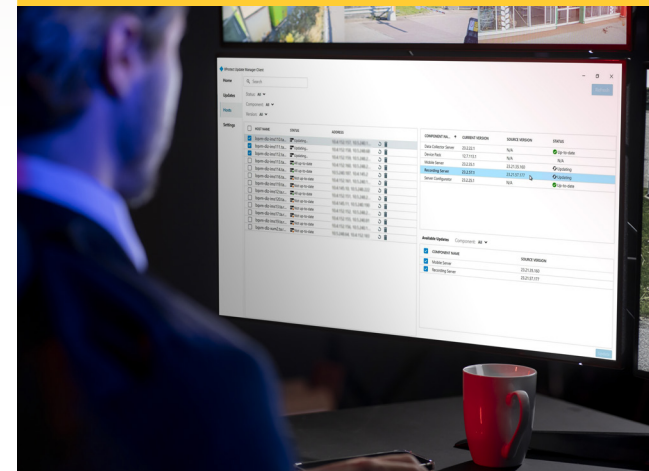
拡張性に優れたマルチサーバーシステム



システムは拡張可能なマルチサーバー構成に対応しており、最大64台のサーバーをグループ化でき、各サーバーは最大1,000のドアを管理します。

この柔軟なアーキテクチャにより、大規模な導入のシームレスな拡張と効率的な管理が可能となり、堅牢な制御と容易な拡張性を提供し、増大するセキュリティニーズに対応できます。

XProtect Update Manager標準搭載



AXIS Secure Entry for XProtectはAXIS Optimizerに含まれており、またXProtect Update Managerにも組み込まれています。

XProtect Update Managerは、IT管理者やシステム管理者によるXProtectコンポーネントのソフトウェア更新管理を支援します。この強力なツールにより、監視システム全体でXProtectおよびAXIS Optimizerのインストールと更新を、安全かつ容易に行えます。XProtect Update Managerを開いて、対象マシンにAXIS Optimizerをインストールするだけです。

高度なアクセスコントロール

ドア解錠時間を延長可能: より長くスムーズなアクセスが可能になります。

ドアを再ロックするよう設定可能: ドアが開いていることを検知したとき、一定時間経過後、またはドアが閉まったときに施錠します。

カードリーダーごとにカード形式を個別に設定可能: さまざまなカードリーダー構成との互換性を確保できます。

ファーストパーソンインロック解除スケジュール: 承認された人が到着したときのみロックを解除するよう設定でき、施設にスタッフがいない状態での誤解除を防ぎます。

Axisネットワークドアコントローラーの緊急入力: ドアを強制的にロック/ロック解除できるよう設定できます。

システム全体にわたるロックダウン (封鎖) を実行可能: 管理者がモバイルクライアントから、個々のドアやゾーン単位で操作できます。

カード所持者の脅迫PINの設定: 脅迫PIN入力があった場合に、ドアへのアクセスは許可しつつ不審者に知られずに通報を行える脅迫PINを設定できます。

ゾーンベースのアンチパスバック: 退出せずに同じエリアに再入場することを防止し、認証情報が不正アクセスのために共有されないようにします。

2パーソンルール: アクセスする際に2人の承認済みカード所持者を必要とし、セキュリティが一層強化されます。

ダブルスワイプ: カードを2回スワイプすることでロック状態を切り替えることができ、手動で簡単にドアを制御できます。

点呼および集合レポート: 出席状況の追跡や、避難時の所在確認を行えます。



統合アクセスコントロール 機能リスト

拡張性

- 最大1000個のドアとマルチサーバーシステム内の64台のサーバーに対応 (ハードウェアの推奨事項にじます)
- システムに10,000件のカード所有者を保存できます
- 各カード所有者に、カード、PIN、静的および動的QRコード*、ナンバープレートなどを含む5つの認証情報を割り当てられます
- システム定義のカード形式 (最大256ビットの長さで編集可能)
- 最大24桁のPIN
- サーバーとの接続に問題が発生した場合もAxisネットワークドアコントローラーが最大25万件のローカルイベントトランザクションとすべての入退管理設定を保持します

システム

- Axisネットワークドアコントローラーにプリインストールされており、すぐに使用することができます
- AxisのOSDP認証済みネットワークドアコントローラーに対応しています
- Wiegand、OSDP (セキュアチャネル) またはA8207-VE Mk IIやAXIS I8307-VE Network Video IntercomなどのIPインターコムを使用してリーダーをドアコントローラーに接続できます
- AXIS License Plate Verifier対応カメラをドアコントローラーに接続して車両のアクセスコントロールを行います
- Assa Abloy Aperioワイヤレスロックソリューションと統合されています
- Active Directory対応*
- Milestoneモバイルアプリでシステムイベントとアラームを受信し、ドアを制御できます
- AXIS A9210 Network I/O Relay Moduleと統合し、ドアの開/閉/長時間開放などの状態を監視することができます

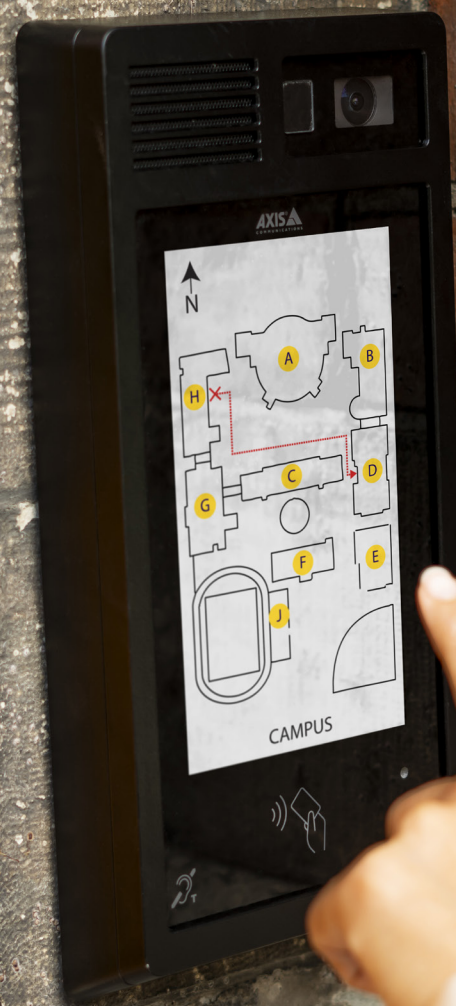
運用

- 映像とアクセスコントロールアラームを含むアラームの一元管理
- アクセスコントロールのイベントログとレポート
- ライブ映像や録画を利用してカード所有者の入退出状況を詳細に検証することができます
- グラフィカルマップで、アクセスコントロールシステムに素早くアクセスして管理できます
- システム監査ログで、システムに対して行われた設定変更やアクションを記録します
- カスタムアクションルールを設定して特定の顧客要件に対応できます
- ドアコマンド (アクセス、ロック解除、ロック、ロックダウン (封鎖)) を使用してリモートから入場を補助できます

AXIS Optimizer ドア入室アドオン

AXIS Optimizerには、次のような追加のドア入室アドオン機能が含まれています。

- XProtect Rules Engineの統合により、ドア入室イベントやアラームに対する、完全自動またはオペレーター制御による応答が可能になります。例えば、照明を点灯したり、スピーカーで録音メッセージを再生したりすることができます。
- インターコムを介した呼び出しとドア入室要求
- Smart Clientを介した車両アクセスコントロールおよびLPRに基づく機能



最適化と統合

AXIS Optimizerは、Axis-Milestoneシステムを最適化および統合し、より明確な状況認識とより迅速な応答を可能にします。

すべての機能、コンポーネント、テクノロジーは、シームレスに連携するよう最適化されています。使い慣れたXProtect ManagementおよびSmart Clientから、幅広いセキュリティユースケース、ワークフロー操作、データにアクセスでき、全体像を把握したりタイムリーに対応したりするために、別々のインターフェースを切り替える必要はありません。AXIS Optimizerは互換性の問題を解消し、互換性のないサードパーティ製品との統合によるセキュリティギャップのリスクを低減します。そのため、新しい機能を簡単に追加でき、映像監視とアクセスコントロールを、音声、インターコム通信、AIによるデータ分析、フォレンジック検索、自動化などの機能と統合できます。これらはすべてXProtect内で実行可能です。

使い慣れた1つのインターフェースを使用して、日々の業務を効率化し、すべてのセキュリティ機能にわたるデータを分析・関連付けることで、貴重な洞察を得ることができます。

統合された単一のAxis-XProtectシステムの利点

- すべて簡単にインストール、導入、使用、更新できます
- ユーザーはXProtectソフトウェアの機能、セキュリティなどに関する専門知識を習得できます
- オペレーターは全体像を把握し、より迅速に対応できるようになります

最適化・統合されたAxis-XProtectシステムがビジネスにもたらす効果については、次のページをご覧ください。

AXIS Optimizerで 対応可能なユースケース

AXIS Optimizerを使用すると、以下のユースケースをサポートするシームレスなワークフローを即座に利用できます。

AXIS Optimizerを導入する

AXIS Optimizerのインストール方法は2通りあります。axis.comから手動でインストールする方法と、XProtect Update Managerを使用する方法です。どちらの方法を選択しても、時間を節約するワークフロー、Axis製品とのシームレスな統合、XProtect内でのスムーズな操作をすぐに利用できます。



デバイス設定の利用

すべてのAxisデバイスを素早く設定し、各デバイスの設定を調整できます。



拡張機能へのアクセス

特定のAxisデバイスのすべての拡張機能に直接アクセスできます。



セキュリティ対策の適用

ユーザーの役割の権限を制御し、オペレーターがアクセスできる機能を管理します。



アクセスコントロールの管理

XProtect内で映像監視とアクセスコントロールを直接統合し、すべてを1つのインターフェースから操作できます。



リアルタイムのイベントへの応答

Axisデバイス上でイベントを管理し、アクションを実行することで、作業時間を短縮し、手作業によるエラーのリスクを排除します。



システム設計およびメンテナンス

システム設計を管理し、更新スケジュールを設定することで、システムを常に最新の機能やバグ修正が適用された状態に維持することができます。



オペレーター操作による自動化

Axisデバイス上でイベントを管理し、アクションを実行することで、作業時間を短縮し、手作業によるエラーのリスクを排除します。



AIを活用した自動化の活用

AIが検知したイベントに応じて自動アクションをトリガーします。



AIを活用したフォレンジック検索

メタデータに基づいて物体やインシデントを検索します。



AIを活用したデータ分析の活用

AxisのInsightsダッシュボードを使用して、データから貴重な洞察を得ることができます。

主な利点の 概要

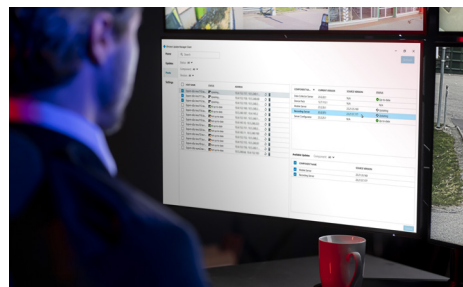


XProtectでアクセスコントロールと映像監視を統合



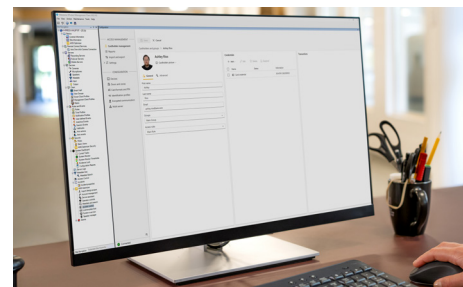
Axis-Milestoneユーザー向けに最適化された、映像監視とアクセスコントロールを統合した単一のソリューション。1つのインターフェースで両方を操作できるため、別々の画面を切り替える必要はありません。

容易なインストール、導入、使用、更新



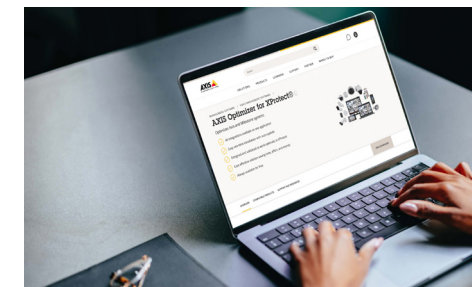
XProtectで即座に有効化できるアクセスコントロール用ハードウェアとソフトウェアの組み合わせにより、導入およびインストールのプロセスが簡素化されます。直感的なユーザーインターフェースとセットアップガイドにより、アクセスコントロールを簡単に習得・運用できます。さらに、XProtect Update Managerの一部であるため、管理者はシステム全体の一括更新を簡単に管理・実行できます。

セキュリティの強化に



アクセスコントロール機能を追加すると、「認証を受けたユーザーのみ、指定のドアや施設に一定の時間帯だけ出入りできる」、「ユーザーごとにアクセス可能なドアを設定して出入り記録を残し、管理者にセキュリティログとして提供する」といったことが行えるようになります。映像監視とアクセスコントロールを併用することで、映像証拠と入退履歴を併用した相互検証と調査が行えるため、一層セキュリティが強化され、安全性も高まります。

AXIS Optimizerに含まれるアドオン機能



AXIS Optimizerの一部であるこのソリューションは、XProtect Rules Engineと統合されており、ドア入室イベントやアラームに対して、自動またはオペレーター制御による応答を可能にします。例えば、照明を点灯したり、スピーカーで録音メッセージを再生したりすることができます。さらに、Smart Clientを介した車両アクセスコントロールやLPRに基づく機能も利用できます。

Axis Communicationsについて

Axisは、セキュリティ、安全性、運用効率、ビジネスインテリジェンスを向上させることで、よりスマートでより安全な世界の実現を目指しています。ネットワークテクノロジー企業として、また業界をけん引するリーダーとして、Axisは映像監視、アクセスコントロール、インターコム、音声ソリューションを提供しています。これらのソリューションは、インテリジェントアプリケーションによって強化され、質の高いトレーニングによってサポートされています。

Axisは50ヶ国以上に5,000人を超える熱意にあふれた従業員を擁し、世界中のテクノロジーパートナーやシステムインテグレーションパートナーと連携することで、カスタマーソリューションをお届けしています。Axisは1984年に創業し、本社はスウェーデン・ルンドにあります。

詳しくは、以下のサイトをご覧ください。

www.axis.com/ja-jp/products/axis-secure-entry-for-xprotect